

Weekly Bulletin

2024-2025



RI会長
ステファニー A. アーチェック



静岡東ロータリークラブ

会長/長島秀親 幹事/島 武志

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
長島秀親

第3121回例会

令和 7年 1月 9日

《司会》 島武志君

《合唱》君が代・奉仕の理想

《ソングリーダー》 由利浩志君

《ゲスト》 なし

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

・お誕生日

1月 4日 望月康弘君

1月 4日 杉山雄吉郎君

1月12日 谷口智康君

1月19日 戸塚敦雄君

・結婚記念日

1月 5日 杉山雄吉郎君

《会長挨拶要旨》 長島秀親 会長

改めまして、あけましておめでとうございます。本年も引き続き、よろしく願い申し上げます。

皆さんは、WHO（世界保健機関）のシンボルマークを見たことがありますか？ コロナ禍では頻繁に行われていたWHOの会見で、知らないうちに目にしていた方も多岐かもしれません。WHOのシンボルは、杖に巻き付いた蛇です。蛇のついた杖は昔から、医学と医療従事者の象徴とされてきました。これはギリシャ神話の医療の神、アスクレピオスが持っていた杖に由来していて、世界中の救急車にも描かれています。また、アスクレピオス娘 薬学の象徴「ヒュギエイアの杯」にも同じように蛇が巻き付いています。

その起源は、古代ギリシャで癒しの神として崇敬され、祭りに蛇を使用したアスクレピオスの物語にあります。アスクレピオスが非常に多くの命を救ったため、黄泉の国の神ハデスがアスクレピオスへの不満を至上神ゼウスに訴えたところ、その治療で人が不死を得ることを恐れたゼウスは、アスクレピオスを雷で死に至らしめたという伝説があります。

「毒や牙など危険なイメージがある蛇が、なぜ医療や薬学の象徴に？」と思う方も多いでしょうが、実は、蛇は脱皮を繰り返すことから、再生や蘇生の象徴とされているのです。意外な一面ですよ。そもそもなぜ蛇は脱皮するか、それは蛇の体を覆う鱗（うろこ）が硬くて伸び縮みしないため、体が成長すると窮屈さを感じるからです。自分がより大きく成長するために、古い皮を脱ぎ捨てるのです。

私もそうですし皆さんの中にも、窮屈さとは言わないまでも「自分は今のままでいいのか」と、疑問や焦りを持っている人は多いはず。少しでも心当たりがあるなら、それはご自身が成長する兆しです。日常の業務だけをこなす日々から脱却して新しい仕事に挑戦してみるのもよいですし、今までの仕事の進め方を改めて新しい知識や技術を取り入れてみるのもよいと思います。

2025年は巳年、蛇の年です。皆さん、ぜひ「自分の内面の脱皮」を目指してみてください。年末に、一皮むけた皆さんの姿を見られることを楽しみにしています。

私は一足お先に今年の6月30日の深夜に脱皮をさせていただき、7月1日からは責任の無い新たなロータリーライフを楽しみたいと思います。

以上、本日の会長挨拶とさせていただきます。

《歳男スピーチ》

竹中正俊君



今年9月に60歳を迎えます。社会人1年目の時は平成元年であり、当時の世の中は55歳で定年でした。その頃は60歳にもなると相当なおじいさんになっているのだらうと思っていました。自分がいざ60歳になると若い頃

に比べて人間的な成長はあまりなく、一方気持ちの中ではそれほど老いた感もなく、「こんなものなのかな。」と正直思っております。

こんな私ですが、還暦を機にもう少し人間的に成熟できるよう精進して参りたいと思います。シニアには体重が重すぎるので減量に努めたいと思います。

最後に私事ですが、年末には初孫が生まれました。立派な『じいじ』になれるよう頑張ります。

生形秀之君



巳年の生形秀之です。初めての年男スピーチです。僕はこのロータリーではひよっこもひよっこなんです、ライダーとしてはかなりのベテランです。

実は5年前に真剣に引退を考えていました。その時はコロナで世

の中が止まっていたり、まだやりたいという思いが強く、やり続けろって応援してくれる方もいてたまたま現役を続ける事ができました。

そして一昨年の大怪我、そこから這い上がってきてもなんとか走れるようになってきた昨年。そんな感じでなんとかここまでやってきていますが、いよいよ今シーズンをもって引退する決意をしました。

スポーツ選手の多くは好きでその競技をやっていますからいつまでもやっていたいと思います。自分もそうです。ですがいつか必ず引退します。そして、そのあとは何をするんだ??っていう部分にもぶつかります。幸い5年前には見えなかったもの、わからなかったものが今では見えたりしてきています。そのあたりを武器にこの先やっていけると思

いますし、若手にバトンを託すって言う部分も少しは見えてきました。そんなわけで生形秀之の現役最後の走りをこのロータリーの皆さんにも見て頂きたいです。いつか応援しようと思ってくれていた皆さん！是非今シーズンにお願いします。

鈴鹿8耐、全日本選手権で気を付けて精一杯チャレンジしてきますのでみなさん、巳年の生形秀之の応援よろしくお願ひします！

鈴鹿公式テスト① 6/11、6/12

鈴鹿公式テスト② 6/18、6/19

鈴鹿8耐 8/3

全日本選手権鈴鹿最終戦 10/26

佐野哲一君



年男として此処に立つは三度目で、ここまでくれば先の事より来た道において少しでも国の為や他人の役に立ったか、誰も出来なかったことを成せたか等の検証をせねばならぬ年齢です。公私に考え

場合、私的には四人の子供が独立して税金を払っているのので国の財政に協力出来ているし、二人も国民を増やしているのので国家には貢献出来ているものと思います。

また他人に出来ぬ事の一つとして小生の名前を法的に変えることができたことです。名前は原則変えられませんが千に一つ理由があればこの限りでは無いとされており、それに上手く嵌った結果ですが万人いや何十万人に一人の確率で人様には無理な事でしょう。私的な人生において二つの大きな出来事でした。公的すなわち職業的には現在皆さんがお茶・紅茶を召し上がる時使われるティーパック、この時ナイロン、不綿布ポリエステルなどの資材で作られた三角錐のティーパックは昭和62年に京都の資材屋と私が共同で世界初の物として世に出したものです。当時地場の茶業界は全くの無視、利用する気はさらさら無く紅茶屋トワイニングがいち早く生産注文を出し全国展開をしてくれたことから三角の存在感が高まり始め、今では世界67ヶ国で作られ使われています。追って平成3年、現在コーヒーを手軽に飲めるドリッパックを開発しキーコーヒーを巻き込んで新発売させました。今やだれ一人知らぬ者無しの商品として世界13ヶ国で生産販売されており、業界では小生が儲けていると思われていますがくたびれ儲けで、一番利しているのは機械屋となります。が、此の二件は多少世の中の為になったかと思う未短い年男の独り言です。

《夜間例会の様様》





《スマイル報告》

竹中正俊君・・・静岡に着任して半年過ぎました。皆様のご厚情へ感謝します。また、初孫が生まれました。合わせてスマイルさせていただきます。

栗木良彦君・・・本年も宜しく願いいたしますのスマイルします。

森下登志美君・・・明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

戸塚敦雄君・・・誕生日のお祝いをありがとうございます。1月19日で71歳になります。まだ暫くは、会社の経営とゴルフに頑張りたいと思います。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU
12/19	59 (55)	39	16	4
12/12	59 (57)	43	14	4
12/5	59 (57)	45	12	4
12月暫定出席率		82.2	%	

(会報作成 宮下典子)